

2022年度 目標・実績/2023年度 目標

目的・目標 テーマ	2022年度		2023年度	
	環境目標	実績	環境目標	
地球温暖化対策	1	お客さま先における省エネ化重点製品の使用に伴うCO ₂ 排出量を削減します ●対象となる省エネ化重点製品の決定および計画策定 ●計画に基づいた製品開発の実施	活動継続	お客さま先における省エネ化重点製品の使用に伴うCO ₂ 排出量を削減します ●計画に基づいた製品開発の実施 ●製品別消費電力の整備
	2	3製品において低温冷媒(R-23、R-508A)の低GWP代替冷媒への転換を実施します	活動継続	5製品において低温冷媒(R-23、R-508A)の低GWP代替冷媒への転換を実施します
	3	取引先におけるCO ₂ 排出量を削減します ●実績収集体制の確立と基準年時実績の開示 ●CO ₂ 削減のための取引先向け勉強会の開催	●実施完了 ●勉強会2回開催	取引先におけるCO ₂ 排出量を削減します ●CO ₂ 排出量10%削減(2019年度比) ●CO ₂ 削減のための取引先向け勉強会の開催
	4	製品廃棄時のフロン回収体制の拡充に取り組みます ●フロン回収の実態把握と課題整理	実施完了	製品廃棄時のフロン回収体制の拡充に取り組みます ●フロン回収体制拡充に向けた調査・検討の実施
	5	事業活動におけるCO ₂ 排出量を52%削減します(2019年度比)	82%削減	事業活動におけるCO ₂ 排出量を53%削減します(2019年度比)
	5-①	製品へのフロン充填時の漏洩を削減	活動継続	製品へのフロン充填時の漏洩削減に向けた施策の展開
	5-②	さらなる省エネの取り組み ●受託試験所の設備を省エネ試験器に入れ替え ●主要事業所における省エネ設備の投資計画の策定 ●GHPからEHPへの切り替え	●目標未達、見直し ●実施完了 ●実施完了	さらなる省エネの取り組み ●受託試験所の設備を省エネ試験器に入れ替え ●主要事業所における省エネ設備入れ替え実施と次年度の投資計画策定
5-③	自家発電比率向上に向けた調査および実行計画の策定	実施完了	実行計画に基づいた自家発電設備の設置・運用開始	
5-④	グローバル事業所における再生可能エネルギー導入率の向上 ●国内事業所での再エネ導入率100%の維持 ●海外事業所での再エネ導入の検討	●維持継続 ●活動継続	グローバル事業所における再生可能エネルギー導入率の向上 ●海外事業所での再エネ導入率55%	
5-⑤	社有車におけるEV化の推進 ●社有車のEV化に向けた投資計画の策定	活動継続	社有車におけるEV化の推進 ●国内グループにおける社有車の10%をEV(電気自動車)に置き換え	
生物多様性保全	6	環境保全事業における植樹によりCO ₂ の固定化に貢献します ●森づくり件数:10件/年 ●植樹指導本数:9,750本/年(CO ₂ 固定貢献量:18.3t相当)	●20件/年 ●47,714本/年 (CO ₂ 換算:90t相当)	環境保全事業における植樹によりCO ₂ の固定化に貢献します ●森づくり件数:12件/年 ●植樹指導本数:11,700本/年(CO ₂ 固定貢献量:22.0t相当)
	7	生物多様性保全に関する土地評価、実施指導、業務委託などの受注拡大に取り組みます ●受注件数:15件/年	●31件/年	生物多様性保全に関する土地評価、実施指導、業務委託などの受注拡大に取り組みます ●受注件数:18件/年
	8	創業75周年記念事業として兵庫県三田市永沢寺国有林で「エスペック50年の森」第1回植樹祭を開催します ●植樹本数:4,000本	●4,000本	創業75周年記念事業として兵庫県三田市永沢寺国有林で「エスペック50年の森」第2回植樹祭を開催します ●植樹本数:4,000本
	9	エスペックみどりの学校での環境教育を通じて人材育成に取り組みます ●国内連結グループ会社の社員に対する環境教育の拡充と実践 受講人数:100名/年 ●地域における企業・学校向け環境教育の拡充 ●公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」による助成の充実 助成件数:15件以上/年	●環境教育体系の再構築完了 ●地域での教育拡充 ●18件/年	エスペックみどりの学校での環境教育を通じて人材育成に取り組みます ●国内連結グループ会社の社員に対する環境教育の拡充と実践 受講人数:200名/年 ●地域における企業・学校向け環境教育の拡充 ●公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」による助成の充実 助成件数:15件以上/年
その他	10	製品リサイクルサービスの回収台数2019年度比110%を目指します	2019年度比102%	製品リサイクルサービスの回収台数2019年度比120%を目指します
	11	製品含有化学物質に関する法令を順守します ●EU-RoHS維持活動および次期RoHS改正に向けた対応プロセスの見直し ●REACHへの対応 ●製品含有化学物質に対応するための社内システムの改善	●実施完了 ●活動継続 ●実施完了	製品含有化学物質に関する法令を順守します ●EU-RoHS維持活動および次期RoHS改正に向けた対応プロセスの標準化 ●REACHへの対応 ●製品含有化学物質に対応するための社内システムの改善
	12	開発・設計・製造プロセスにおいて汚染と廃棄物を出さないモノづくりを行います ●プラスチック使用部品の代替品への置き換え・削減 ●国内連結グループの事業所における産業排出物のゼロエミッション90%達成(2021年度:86.9%)	●活動継続 ●ゼロエミッションの定義再検討	開発・設計・製造プロセスにおいて汚染と廃棄物を出さないモノづくりを行います ●プラスチック使用部品の代替品への置き換え・削減 ●国内連結グループの事業所における産業排出物のゼロエミッション94%達成(2021年度:86.9%)
	13	CDPやTCFDへの対応など開示情報の充実を図ります ●CDP気候変動レポートの「A-」スコアを環境経営の指標として取り組みを推進 ●TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)に基づく情報開示の実施	●Bスコア、サプライヤー・エンゲージメント・リーダー初選定 ●実施完了	CDPやTCFDへの対応など開示情報の充実を図ります ●CDP気候変動レポートの「A-」スコアを環境経営の指標として取り組みを推進、生物多様性保全についての開示情報充実 ●TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)に基づく情報開示の実施